

今週のビルマのニュース 2009年10月23日【0939号】

ビルマの人権状況について、国連の専門家が報告

・国連のキンタナ特別報告者（ビルマの人権問題担当）は22日、国連総会第3委員会でも報告をした。ビルマの人権状況は「非常に悪く」、「広範で組織的な人権侵害の傾向が見られる」と述べた。人権状況に改善が見られないのは侵害行為をしても罰せられないためだとし、政府に対応を求めた。また、民族居住地域を中心に国内各地で深刻な食料危機が起きていることも指摘した。キンタナ氏は11月末までにビルマを訪問したいとのこと（22日国連ニュース）。

キャンベル氏「経済状態は制裁のせいではない」

・米議会下院外交委員会は21日、米国のビルマ政策に関するヒアリングを開き、キャンベル国務次官補やビルマ民主化支援団体職員らが証言した。キャンベル氏は、米国の制裁はビルマ国民ではなく軍政や政商を対象にしており、経済成長の遅れは軍政の政策によるもので、投資環境も制裁が科される前から悪かったと述べた。また米政府が近くビルマに代表団を派遣し、軍政や民主化勢力、少数民族団体と会談する予定であると述べた（ヒアリング記録）。

軍政と対立中のカチン民族団体が新たな提案

・軍部のあり方をめぐり軍政と対立しているカチン独立機構（KIO）が軍政側に新たな提案を出した。少数民族に自治権を認めたパンロン協定（1947年）を軍政が守るなら、武装解除するというもの。打開策となるかは不明（21日カチン・ニュース）。

【背景】新憲法は国軍をビルマで唯一の武装勢力と定める。このため軍政は十数の停戦団体に対し、軍部を国境警備隊に改編し国軍の指揮下に入れるよう求めていた。軍政は8月、要求に応じなかったコーカン軍を武力攻撃により制圧した。KIOも軍政の要求を拒否しており、緊張状態が続いている。

新日鉄がビルマ沖ガス田の追加建設工事を受注

・新日鉄のタイ子会社が、ビルマ沖のイェタゲン天然ガス田の海洋プラットフォーム（第四フェーズ）建設工事を受注した。2012年に完成予定（21日付アップストリーム・オンライン）。

腐敗認識度と報道の自由度、ワースト2位と5位

・汚職・腐敗問題に取り組む国際団体トランスパレンシー・インターナショナルが22日、世界の180

か国の腐敗認識指数を発表した。ビルマはソマリアに次いでワースト2位（イラクと同位）だった。

・国境なき記者団は21日、世界175か国の報道の自由度を発表した。ビルマは171位だった。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など

新たな発表はなし

イベント情報

・在日ビルマ人共同行動実行委員会ほか 国連事務総長に対しスーチーさんを含むすべての政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピール行動（国連大学前、19日～23日15～16時）

・ビルマ応援の会「アウンサンスーチーと彼女を支えた家族の写真展」（ギャラリー「やさしい予感」、21～26日。25日14時から宇田有三氏の無料トークイベント。当日整理券配布、先着40名）

・日本ビジュアル・ジャーナリスト協会 写真展2009「世界187の顔～生命の現場から～（キッド・アイラック・アート・ホール、11月3日～15日11～20時。11月5日18時半から佐藤文則と在日ビルマ人のトークイベント「陰に追いやられる難民申請者」。予約先着順、有料）

・第1回移民映画祭 マレーシアのビルマ難民が受けた人権侵害の証言記録『HOME』上映、リム・デズリ監督と根本敬上智大教授との対談（上智大学10号館講堂、11月8日上映12時10分、対談13時）

・山本宗補&野田雅「ビルマ（ミャンマー）・チベット」写真展とスライド&トーク（国立市公民館1階ロビー、11月17日～22日9～21時。但し初日11時から、最終日は19時終了。山本宗補と野田雅によるスライド&トークは21日13時半～）

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165